



いそ旅立ちのとき!

第1回大崎中学校卒業式



多くの方に見守られ卒業



卒業生代表
村永 前生徒会長



在校生代表
岡元 生徒会長



卒業生より記念品贈呈



卒業証書授与(第1号)



校歌斉唱

昨年4月に町内3中学校が統合し開校した大崎中学校(中山春年校長)の第1回卒業式が3月11日(水)、同校体育館で行われ、第1期生112名が旅立ちのときを迎えました。

保護者、来賓、教職員、在校生の拍手に迎えられ、卒業生が入場し、開式しました。

卒業証書授与では、クラス担任から一人ずつ名前が呼ばれ、卒業生は壇上へ上がり、『第1号』の卒業証書が、3年1組の有村二葉さんに中山校長から授与されました。

中山校長は、「3年間一人ひとりが良く頑張りました。特に最後の1年間は、新生大崎中学校としての流れを作る体育祭や文化祭、合唱コンクール、部活動などでクラスのみとまりや最上級生としてのリーダーシップを遺憾なく発揮し、素晴らしい感動をともに分かち合うことができました。皆さんの活躍は、本校歴史の最初のページを記すものであり、これからの伝統の礎となることでしょう。」と式辞を述べ、東町長と川畑光

三郎PTA会長が祝辞を述べました。

在校生を代表して、2年生(当時)の岡元拓己さんが、「3校が統合され、何をどのようにしていけば良いかも把握できていなかった私たちに、先輩方は行動をもって模範を示してくださいました。私たちにあって先輩方は常に目標であり、手本でもありました。先輩方の『より良い大崎中にする』という素晴らしい志をしっかりと引き継いでいきたいと思えます。」と送辞を述べ、卒業生を代表して、村永崇征さんが、「新たな中学校への期待と不安を抱きながら、それぞれの中学校の色を活かしながら新たな色を探っていく毎日でしたが、学校生活を楽しく過ごせたのは、辛いとき、楽しいときは、泣いているときにいつもそばにいて支えてくれたのが仲間たちでした。私は最高の仲間をいつもまでも大切にしていきたいです。ありがとうございました。」と答辞を述べました。